

Annual Report

2023→24

特定非営利活動法人NPOぐんま 活動報告

特集

妙義ビジターセンターオープン ▶▶ 次ページへ

4つの福祉系計画の策定を支援

■ 高齢者保健福祉・介護保険事業計画 (渋川市・富岡市・甘楽町)

すべての高齢者を対象とする福祉サービス全般にわたる施策などを定める高齢者保健福祉計画、介護サービスの見込量やその供給体制の確保など、介護保険制度の円滑な運営を図るための施策を定める介護保険事業計画は、3年ごとに一体的に策定することが法律で定められています。

第9期にあたる本計画は、計画期間中間年である令和7(2025)年に「団塊世代」がすべて75歳以上(後期高齢者)となり、高齢化がより進むことを踏まえた健康づくりや介護予防、認知症になっても暮らしやすい環境づくりを強化するとともに、介護人材の不足への対応など、地域の課題への対応を盛り込む計画となりました。

■ 地域福祉計画(渋川市)

地域福祉計画は、福祉分野の最上位計画として、福祉全般について定める計画です。渋川市では第2期となる計画として、渋川市社会福祉協議会による「地域福祉活動計画」と同時に策定しました。

また、認知症や知的障害などにより判断能力が不十分な人を支援するための「成年後見制度利用促進計画」(第2期)、犯罪や非行をした人の円滑な社会復帰の環境整備により再犯の防止を図るための「再犯防止推進計画」をあわせた一体的な計画として策定しました。



左から渋川市、富岡市、甘楽町の各高齢者福祉・介護事業計画、渋川市地域福祉計画

東吾妻町の2つの計画策定を支援

■ 第2次総合計画後期基本計画

東吾妻町のまちづくりの最上位計画である総合計画(第2次)の「後期基本計画」の策定を2年間にわたり支援しました。前期基本計画策定時に続いての支援となりました。

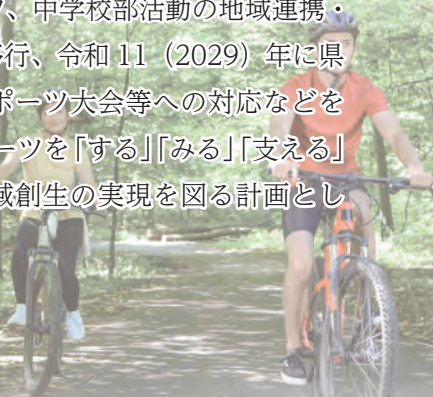


総合計画

■ スポーツ推進計画

東吾妻町では初めて策定する計画で、前年度に実施した住民アンケートに基づき、スポーツへの

意識やニーズを踏まえた施策の方向性を決めました。特に、住民ニーズが高いウォーキング、近年町内外で人気が高まっているマウンテンバイク等のアウトドアスポーツ、中学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行、令和11(2029)年に県内開催予定の国民スポーツ大会等への対応などを重点施策に掲げ、スポーツを「する」「みる」「支える」ことで共生社会や地域創生の実現を図る計画として策定しました。

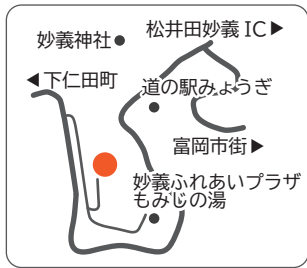




妙義ビジターセンター オープン

赤城山、榛名山とともに上毛三山の1つに数えられる妙義山は、2023年に国の名勝指定100周年を迎えました。100周年の「山の日」(2023年8月11日)、妙義山エリアに「妙義ビジターセンター」がオープンしました。

このセンターは、30年にわたり妙義山を描く絵画展の入賞作品を中心に展示してきた「妙義ふるさと美術館」をパワーアップ、リニューアルしたもので、NPO ぐんまは、地域住民や富岡市職員などによる活用検討委員会の発足(2017年)から支援を続けてきました。



アートギャラリー

旧美術館の機能を引き継ぐスペース。絵画展入賞作品の常設展示や企画展などのほか、アートイベント等への貸スペースとしても利用できます。



▲富岡学などでも活用

芝生広場 (前庭)

マルシェなど様々なイベントに活用できる広場



VR体験

妙義山の難コースを最新のVR技術で疑似体験できます。(年齢制限あり)



※写真はイメージ

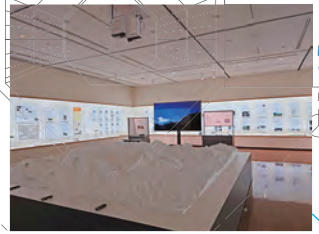
山の本

妙義山に山や自然絵本が配



立体模型

“超”巨大立体模型(縦横4m×4m)にさまざまなコンテンツがプロジェクションマッピングで投影されます。



YAMA CAFE MYOGI

妙義山をイメージしたコーヒーやスイーツ、地元食材を利用したパスタなど、シェフこだわりの品々が堪能できます。

3階展望ラウンジに移動して、妙義山を眺めながら味わうことも可能です。



カフェ

ぐんまビジタートイレ

安全・安心・清潔・快適なトイレとして群馬県が認証した公衆トイレもあります。



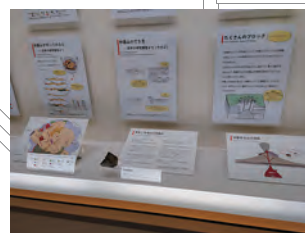
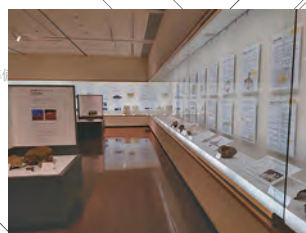
案内マップ

登山ルートや危険箇所、通行止めやクマ等の出没箇所等の最新情報を提供。



■妙義山誕生

「妙義山はかつて火山だった！」妙義山の“ギザギザ・ゴツゴツ”のヒミツを最新の地学研究成果から解き明かします。また、“火山”を裏付ける岩石標本や新たな“発見”についても展示しています。





■ 少し前の妙義山麓の暮らし

旧妙義町の時代に、「農村文化遺産」として、住民の皆さんから提供され、妙義小学校に保管されている道具の一部や、生活の様子などを紹介します。



のスペース

関する本を中心に、科学に関する本や架されています。

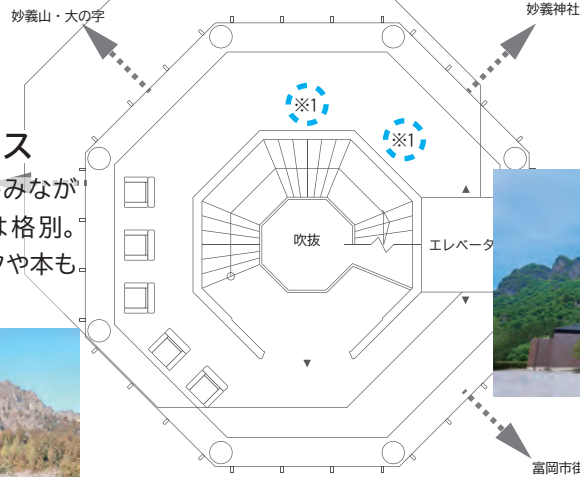


絶景堪能スペース

妙義山の絶景を楽しみながら味わうコーヒーは格別。山がテーマのコミックや本も楽しめます。

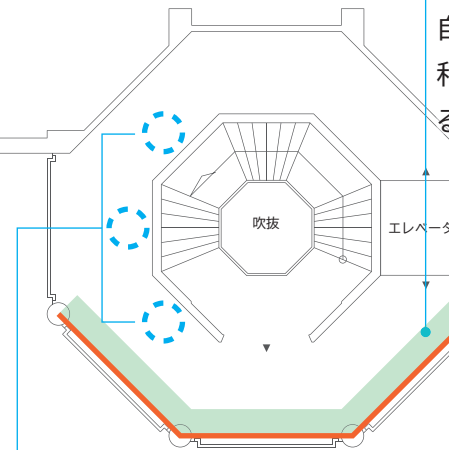


3階展望ラウンジ



富岡市街

2階ギャラリー



■ 妙義の植物

妙義山といえば“もみじ”。自生する様々なもみじや、和名に「ミヨウギ」を冠する貴重な植物を紹介。



▲季節ごとに写真を入替

■ 妙義の信仰

妙義の三つの峰、白雲山、金洞山、金鶏山のそれぞれを信仰の対象としていたことがうかがえる三つの神社、妙義神社、中之嶽神社、菅原神社のうち、妙義神社を中心に紹介します。



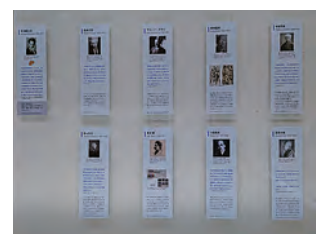
里見哲夫氏コレクション

群馬県の植物学研究に多大な功績を残す里見哲夫氏が所有する貴重な植物標本（写し）の一部を紹介します。



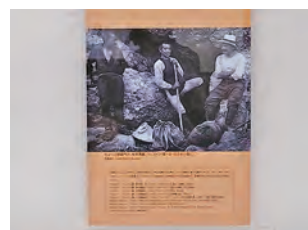
■ 妙義山ゆかりの人々

妙義山には古くから多くの文化人や科学者が訪れてきました。小林一茶、正岡子規、アーネスト・サトウ、ブルーノ・タウト、芥川龍之介など、妙義山に魅せられた人々の一部を紹介します。



■ 清蔵とウェストンの時代

山好きなら一度は見たことがある1枚の写真。ここに写る妙義山の登山案内人根本清蔵と日本の近代登山の時代を開いたウォルター・ウェストン。彼らがともに過ごした時間を、ウェストンが残した著書や日記などから辿ります。



妙義ミュージアム

エコアクション 21 事務局の運営 地域事業者の環境経営をバックアップ



環境省制定の環境マネジメントシステム「エコアクション 21」は、取り組みやすいく、成果の評価がしやすいシステムとして年々評価が高まっています。このシステムの発足以来、NPOぐんまは、地域事務局群馬として、環境経営に取り組む事業者様や審査員の方々を支えています。

2023年度は、群馬・茨城両県で225事業者（地域事務局群馬所管136件、群馬県中小企業団体中央会所管52件、茨城県中小企業団体中央会所管37件）の審査・判定を進めました。

これからも地域の事業者様の環境経営推進を支援していきます。

会費を活用いたしました

群馬県における“とかいなか”の特性と可能性 藤岡・富岡・沼田・安中の4市等との勉強会を開催

公民館を拠点とする地域づくりについて、2020年度に沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市の5市の参加により勉強会が発足。2023年度は、熊倉代表理事を中心に、富岡市、藤岡市、沼田市、安中市の4市に加え、玉村町、埼玉県ふじみ野市、さらにNPO法人都市工会（としのたくみのかい）、（一社）地域開発研究所などの協力を得ながら、リモート（Zoom）にて事例発表や意見交換を重ねました。そして、この勉強会の成果を高崎商科大学特任教授でもある熊倉代表理事が、「“とかいなか”地域振興モデルの探索 - 東京圏外周部にお

ける持続的コミュニティ振興のあり方に関する実践的研究 -」としてとりまとめ、「2023年度高崎商科大学地域志向研究報告」に掲載されました。

この報告の中では、都会と田舎の混在地域“とかいなか”について「地区」を基盤とする群馬県周辺地域の特性や、人口減少が進行する中での地域振興の可能性などについて検証が行われました。



会費を募集しています

会員の皆様からご協力いただく「会費」は、NPOぐんまが公益活動を推進するためのたいへん重要な財源です。

設立趣旨や活動内容に賛同いただき、会員としての活動を支援して下さる方を随時募集しています。

ご入会ご希望の方や興味のある方は、事務局までお気軽にご連絡ください。

会員種別	入会金	年会費 (1口)
正会員 (主に個人)	なし	10,000円
賛助会員 (主に企業・団体)	20,000円	100,000円